

今後望まれる「小・中学校の適正規模」を 阿蘇市学校規模適正化審議会が答申

教育委員会の諮問機関として平成19年10月に設置された阿蘇市学校規模適正化審議会の審議が終了し、12月16日に古木孝宏会長（市議会文教厚生常任委員長）が教育委員会に答申しました。審議会では、1年2ヶ月をかけて阿蘇市の学校のあるべき姿について真剣な論議が行われてきました。そして、阿蘇市の子どもたちにとってより良い教育環境を整え、教育効果の向上を図り、将来の阿蘇市を担う人材を育成するために、学校規模の適正化を図ることが必要と



▲学級数、学校統合などについて盛り込まれた審議内容を日吉教育長に手渡す古木会長

■答申の骨子

○小学校は、1学年2学級から3学級の12学級以上18学級以下の学校を適正規模とする。中学校は、1学年3学級から6学級の9学級以上18学級以下の学校を適正規模とする。ただし、波野地域においては、通学条件等の地域性を考慮し、小・中学校ともに現在の1学年1学級を適正規模とする。

○学校数については、現在11校ある小学校を統合し4校に、4校ある中学校を統合し3校にする。

また、要望事項として、学校規模適正化基本計画の策定にあたり、①通学時の安全確保、②教育環境の充実、③地域コミュニティへの配慮、④学校の名称、⑤通学区域の5点を重要事項と

いう結論に至り、今回の答申となりました。

▼1年2ヶ月に及んだ審議会の様子



して検討するよう求めました。教育委員会では、審議会の答申を基に十分協議を行い、具体的施策を検討した後、市長部局との協議を進め、基本計画を策定して参ります。今後、市民の皆さまも、阿蘇市の将来を担う子どもたちの教育環境の充実のためにご理解とご協力をお願いします。

昨年、阿蘇市では
こんな出来事がありました…

2008 阿蘇市10大ニュース!



▲内柴選手の市民栄誉賞授与式
母校一の宮中の生徒から花束を贈られる内柴選手

- 幹線道路（通称8m道路）本格着工
- 阿蘇西小学校体育館完成
- 児童医療費助成・中学生まで拡大、また、乳幼児医療外来窓口無料化
- 総合型地域スポーツクラブスタート
- 商工会合併「阿蘇市商工会」発足
- 道の駅「阿蘇」オープン
- 合併直後からの懸案事項であった黒川地区の水不足の解消（一の宮第5水源整備事業完了）
- スポーツ2つの栄誉！
- ☆内柴正人選手がオリンピック柔道金メダル2連覇で第1号の阿蘇市民栄誉賞受賞！
- ☆阿蘇高校女子柔道部が全国初となる全国大会四冠制覇
- 市営団地新小里団地起工
- 東海大学農学部と農業振興で相互協定